

「ワイドにコンパクトシ土浦」

杉原賢一 山本純 中川浩志 薄井宏行 村田瑞穂

1. 土浦市の概要

土浦市は、桜川低地と霞ヶ浦とが接する湖頭に発達した湖頭集落で、東京から 60 km 圏に位置する茨城県南地域の中核都市である。隣接するつくば・牛久とともに業務核都市に指定されている。

土浦市の歴史は古く、縄文から室町時代にわたる国指定の史跡や文化財も多く残されている。

江戸時代には城下町の骨格が形成された。この頃から土浦は水戸街道と桜川、霞ヶ浦の水運を保有し、交通の拠点、物資の集散地として、水戸に次ぐ常陸国第二の都市として繁栄した。

明治以降も発展を続け、県の出先機関や旧制中学も置かれた。昭和初期には海軍航空隊予科練が設置された。そして、昭和 49 年には人口が 10 万人を超え、県南地域の中核都市としての地位を確固たるものにした。

しかし近年では中心市街地での相次ぐ大型店の撤退や郊外店の立地により、中心市街地の空洞化が進んでおり、加えて隣接する筑波研究学園都市の発展、つくばエクスプレスの開通などの影響から、その地位がゆらぎつつある。

市内は、城下町、商都として栄えた中心地区、研究学園都市に近接し、荒川沖駅を中心とした南部地区、神立工業団地を中心とした北部地区の 3 地区に分割され、平成 18 年 2 月 20 日には筑波山麓の新治郡新治村との合併を控えている。

今後、本研究においては新治村の区域（以降新治地区と呼ぶ）を含めた 4 地区を土浦市として扱う。



図 1：土浦市 4 地区の範囲

2. 土浦市の現状分析と問題点

2-A. 人口

新治村も含めた新土浦市の人口は 144,433 人（平成 17 年 11 月 1 日、両市村調べ）で、両市村の総合計画を参照すると将来人口は 20 万人と想定されている。しかし、平成 14 年の国立社会保障・人口問題研究所の試算では平成 27 年（2015 年）の 147,173 人をピークに減少に転じ、現在から 20 年後に当たる平成 37 年（2025 年）には 143,475 人と現在の水準を下回る予測が立てられている。

また、2005 年の実測値は予測値を 1600 人程度下回っており、実際にはこの予測よりも早く人口減少が進む可能性がある。

図 2 と図 3 は JICA STRADA を用いて産業別人口割合を求めた結果である、1988 年から 2010 年の 22 年間に於いて、産業別人口分布の目立った変化は確認されない。zone20, zone21 では、人口の約半数が第二次産業に従事していることがわかる。このことから、土浦市北部地域には工業団地が多いことがわかる。一方で、zone15～zone19 に注目すると、ゾーン人口の半数以上が第三次産業に従事していることがわかる。市内全体的に第一次産業に従事している人の割合は少なく、レンコン栽培が盛んな zone22 に着目しても、意外に農業従事者は少ないことが確認される。

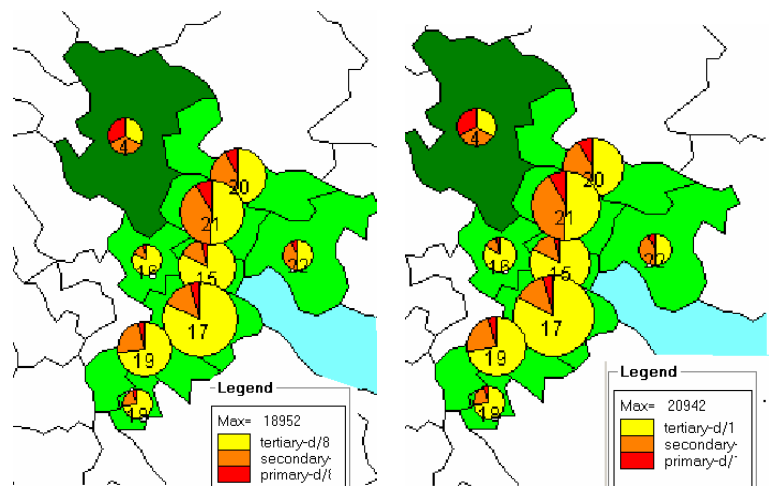
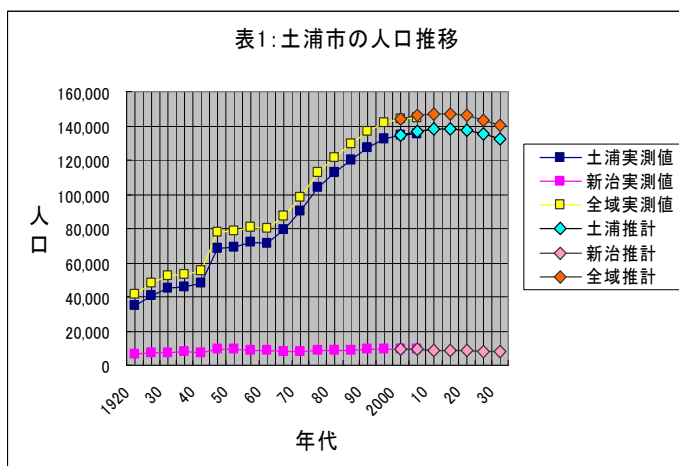


図 2：産業別人口の割合(1988 年)

図 3：産業別人口の割合(2010 年)

2-B.住環境

(1) 住宅地

戦災の被害が少なかった為土浦市中心部は古くからの家々や街路が残っており、道路が狭く、非常に密集している。このため、土浦駅前や荒川沖では市街地再開発事業が行われ、地域の再生と土地の高度利用が図られている。

高度成長期以降、人口増加と市内の土地の高騰に合わせて郊外の永国や中村西根、木田余などでは土地区画整理事業によりニュータウンが造成された。また、北部神立地区では土浦千代田工業団地と合わせて大規模なニュータウンが作られた。

一方、田村沖宿や瀧田等の土地区画整理事業ではバブル崩壊等の影響で住宅や業務施設の立地が進まず、大きな負債となっている。

(2) 公園・緑地

筑波山麓から霞ヶ浦まで広がる土浦市は森林や桜川等の河川敷など緑地が豊富である。また、川口運動公園や霞ヶ浦総合公園など大小 43 カ所の都市公園もある。しかし、人口一人当たりの公園面積値で見れば、現土浦市が 5.74 m²、現新治村が 8.28 m²と、国土交通省の「緑の政策大綱」(平成 6 年)で目標水準とする住民一人当たり面積 20 m²の 4 分の 1 程度となっている。



図 4：主な住宅地造成事業

2-C.インフラ

(1) 交通

土浦市の道路網は旧水戸街道を継承するように国道 6 号、JR 常磐線、常磐自動車道が整備され、東京、水戸への広域交通を担っている。東西方向には国道 125 号、354 号が走っており、稲敷、鹿嶋、つくば方面との交通を担っている。中心市街地は城下町時代の道路網がそのまま継承されているため、狭い道路が多い。

最新の人口データを用いて JICA-STRADA と CUET で交通量の分析を行った結果、土浦市はつくば市との結びつきがもっとも強く、続いて阿見町、かすみがうら市千代田地区・霞ヶ浦地区の順になっていることがわかった。

また、つくば市への道は、整備された道路が数多く存在するので混雑は目立たないが、南北に走る国道 6 号線が、土浦市内のほぼ全線に渡ってひどい混雑状況となっており、阿見へとつながる国道 125 号、かすみがうら市霞ヶ浦地区へとつながる国道 354 号、さらには土浦駅前も混雑が目立つ状況になっている。

市内の公共交通は関東鉄道の路線バスが中心であるが、同社の年間輸送量は 1999 年～2003 年の 5 年間で 32% 減少している。

現在、中心市街地の活性化問題とリンクし、バス利用不便地域の緩和、公共交通利用の促進を目的に、キララちゃんと呼ばれるコミュニティバスが運行されている。

(2) 上下水道

土浦市の上水道普及率は平成 16 年 3 月末で現土浦市が 94.40%、現新治村は 88.68% でほぼ 9 割近くの世帯に供給されている。一方、下水道普及率はそれぞれ 81.78% (普及率県内 4 位)、71.95% (同 10 位) で、いずれも県都水戸市よりも高い。

(3) 情報・通信

土浦ケーブルテレビ株式会社 (J-COM Broadband 茨城) が全域ではないものの現土浦市と牛久、かすみがうら両市、阿見町をカバーしている。

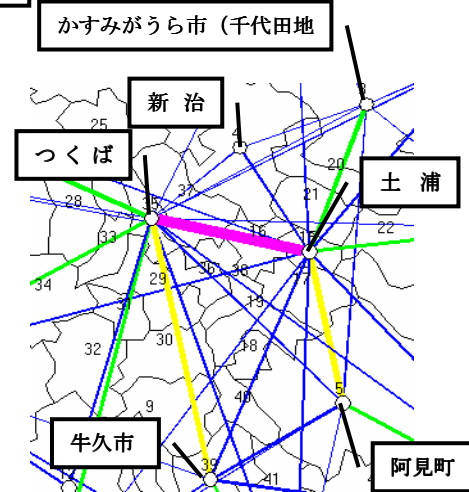


図 5：OD 表

2-D.商業

かつて土浦市は県南一の商都だったが、その年間商品販売額の対県シェアは年々減少している。

(1) 中心市街地

中心部には大小多くの商店が立地していたが、モータリゼーションや人口の郊外進出により、かつての活気を失い、近年では大型店の相次ぐ撤退や増加する空き店舗が問題となっている。平成 9 年、再開発事業のプロジェクトとして、URALA が建設されたが、依然として大型店の閉店、商店街の衰退は続いている。

また、歩行者動線も駅と URALA の間ばかりが太く、その他の地点の動線は弱い。

(2) その他の地域

南部地区では国道 6 号と学園東大通の交差点を中心に郊外型の大型店が立地している他、荒川沖駅東口に「さんぽる」という駅直結のショッピングセンターがある。

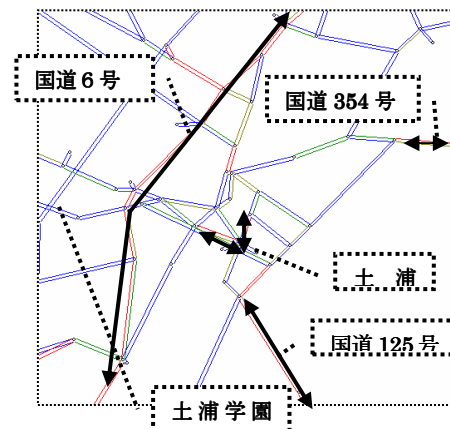
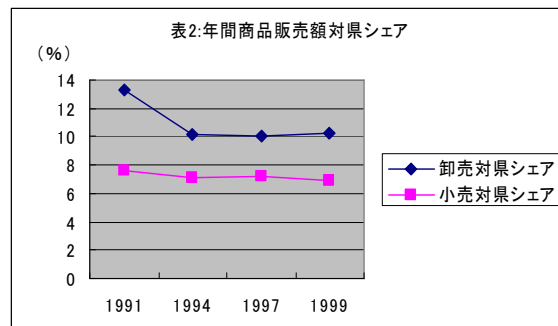


図 6：混雑状況



北部地区の神立駅周辺では目立った商業施設はないが、隣接するかすみがうら市に千代田ショッピングセンターがある。
新治地域にはエコスを核テナントとする「さん・あびお」がある他、隣接するつくば市には多くの商業施設がある。

2-E.農業

霞ヶ浦に面する土浦市は低湿性水田地帯に位置しており、レンコンの生産が盛んである。
また、花卉栽培にも力を入れている他、新治地域では果樹栽培が盛んである。

(1) レンコン

土浦市のレンコン生産量は全国一で、特に霞ヶ浦湖岸の沖宿、田村、手野、木田余地区と桜川周辺の虫掛地区などに多く栽培されており、主に京浜方面に出荷されている。
また、レンコン麺などレンコンの加工品の販売にも力を入れている。

(2) 花卉

全国有数の生産量を誇るグラジオラスは、県の銘柄生産の指定を受けており、アルストロメリアについても県指定銘柄推進産地となっている。

(3) 果樹

みかんの栽培の北限、りんご栽培の南限であり、他にもナシ、ブドウ、クリ、カキが特産となっている。

2-F.水産業

霞ヶ浦は 220 m² の湖面積を誇る日本第 2 位の湖であり、様々な魚が生息している。
土浦市では沖宿漁港を拠点としてワカサギなどの漁業が盛んであるが、近年、霞ヶ浦の水質悪化で漁獲高が減少している。そのため資源確保と漁獲高増加に向けて、稚魚放流や養殖などにも取り組んでいる。
佃煮などの水産加工業も盛んだが、霞ヶ浦の漁獲高減少が影響し、原料の確保が難しくなっている。

2-G.工業

工業は北部地域が中心で、かすみがうら市との境界にある土浦千代田工業団地には日立グループの企業など 41 社が立地している。
また、常磐道土浦北 IC に近接するテクノパーク土浦北には 7 社、東筑波新治工業団地には 1 社が立地しており、これらの地域への企業誘致を促進している。

2-H.観光

土浦市は古くからの城下町であると同時に水郷筑波国定公園の一部を形成しており、霞ヶ浦や筑波山などの観光資源が豊富である。また、周辺地域には石岡市の常陸野風土記の丘、フラワーパーク、つくば市の霊峰筑波山や筑波山温泉があり、広域観光のポテンシャルの高い地域となっている。

(1) 歴史ある街並み

城跡、寺社をはじめ、道標、一里塚や家並み等が残されている他、歴史的都市景観整備事業として蔵や石畳などの保存・改修も行われている。

(2) 霞ヶ浦と桜

水郷筑波国定公園に指定されている霞ヶ浦は日本第 2 位の湖で、土浦市の観光資源の一つでもある。霞ヶ浦ではヨットやフィッシングなどのウォータースポーツが盛んであり、遊覧船も運航している。
筑波山南麓に位置する新治地区では、スカイスポーツが盛んであり、またフルーツラインと呼ばれる果樹園群がある。
その他、桜川沿岸や市内各所には桜の名所が多くある。

(3) 日本一の花火競技大会

毎年 10 月の第 1 土曜日に桜川畔(学園大橋付近)で開催され、日本三大花火大会の一つとされている。日本の代表的な花火師が各地で 1 年の花火大会を終わり、それまでに得た研究妙技で日本一を目指すと共に、花火師達の技術修練の場として最も権威ある大会と格付けされており、毎年約 65 万人の観客が訪れる。

表 3：レンコンの生産量

順位	市町村名	作付面積(ha)	収穫量(t)
1位	土浦市	496	7640
2位	霞ヶ浦町	340	5100
3位	徳島県鳴門市	331	4620
4位	愛知県立田村	240	3270
5位	山口県岩国市	195	3120
6位	玉里村	147	2070
7位	佐賀県福富町	132	2000



図 7：主な工業団地



図 8：土浦周辺の観光地

3.土浦市6次マスタープランにおける疑問点

(1) 人口フレーム

土浦市の第6次のマスタープランでは、平成35年度の人口を15万人、将来展望人口を20万人とし、人口の増加を想定している。しかし、平成17年現在土浦市の人口は約13万人であり、平成16年の13.5万人から減少に転じている。将来的に見ても少子高齢化から人口の飛躍的増加は難しいと考えられる。このことを踏まえ、将来人口フレームの見直しが必要であると感じた。

(2) 土浦市と周辺自治体の連携

マスタープランには「周辺地域との連携」ということについて明記されていなかった。土浦市マスタープランによると、土浦は単独で市街地を形成してきたかのように記してあるが、土浦市はその市街地形成の歴史をみても単独で形成された街ではない。水戸街道および霞ヶ浦の交通の結節点として発展してきた。過去、土浦市は県南地域最大の都市として県南地域の行政や商業の要担ってきた。この発展の側面には他の街の存在なくしてはありえなかった。

昨今ではつくばエクスプレスの開通に伴う沿線開発が行われ、周辺自治体の首都圏への利便性が見直され将来の人口の増加が予想されている。その結果、県南地域にはつくば市(20万人)をはじめとして、取手市(11.2万人)、牛久市(7.6万人)、守谷市(5万人)、つくばみらい市(平成18年新設；5万人)など土浦市を上回る新興のエリアがさらに発展すると予想される。このことをふまえ、茨城県南地域における中心都市としての位置付けを土浦市は見直すべきであると感じた。土浦市は今後、すべての行政機能を持つのではなく、各都市に機能を分散させることにより、県南地域の居住者全体の利便性が向上するように政策を作ることの必要性を私たちは感じたのだが、マスタープランには「周辺地域との連携」ということについて明記されていなかった。その点について疑問を感じた。

4.今後の展望

今後私たちは土浦市の現況を踏まえ、以下の4つの項目を中心に調査・研究を行なっていきたいと思う。

- ①連携・・・土浦市内4地域間のつながり、茨城県南の地域としての協力を促進する。
- ②観光・・・霞ヶ浦や筑波山などの資源を生かした観光産業を強化したまちづくりを促進する。
- ③商工業・・・土浦市の地域特性を踏まえ、物流・工業の促進を図る。
- ④交通・・・現状及び将来の交通予測を踏まえ、よりよい交通体系を考える。

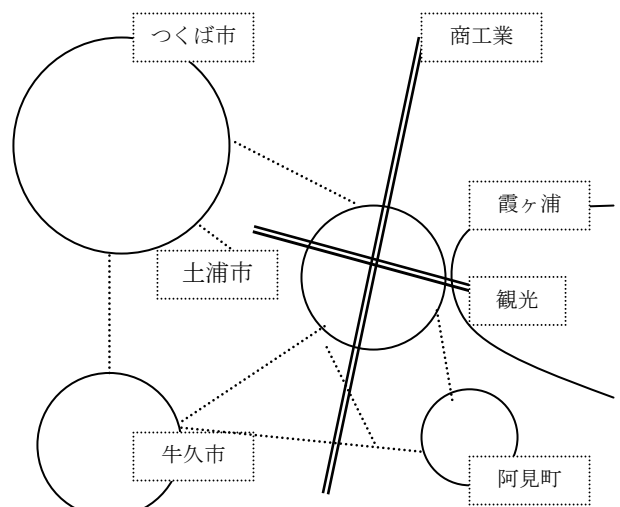


図9：今後の展望（概念図）

◆参考文献◆

- ・茨城県社会生活統計指標（地域別・市町村別個別指標値）—平成17年3月—平成17年12月20日
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/sugata/seikatu17/hyo/A-shizen.xls>
- ・いばらき統計情報ネットワーク 過去の統計データ 国勢調査による人口 11市町村別人口の推移（平成7年行政区画による） 茨城県企画部統計課 平成17年12月20日
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/kako/data/02/10/11/004-H07.xls>
- ・日本の市区町村別将来推計人口の概要 国立社会保障・人口問題研究所 平成17年12月20日
<http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson03/syosai/pdf/gaiyo.pdf>
- 統計つちうら 土浦市統計係 平成17年12月20日
<http://www.city.tsuchiura.ibaraki.jp/statistics/pdf/s14.pdf>
- ・いばらき統計情報ネットワーク 市町村早分かり 居住・環境 茨城県企画部統計課 平成17年12月20日
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/sugata/haya17/s17.04kyozyu.xls>
- 統計つちうら 土浦市統計係 平成17年12月20日
<http://www.city.tsuchiura.ibaraki.jp/statistics/pdf/s14.pdf>
- ・いばらき統計情報ネットワーク 市町村早分かり 居住・環境 茨城県企画部統計課 平成17年12月20日
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/sugata/haya17/s17.04kyozyu.xls>
- 土浦市ホームページ 産業—商工業 平成17年12月20日
<http://www.city.tsuchiura.ibaraki.jp/industry/01.htm>
- ・土浦石岡地方広域市町村圏 観光ガイド 平成17年12月20日
<http://www.kouikikankou-ibaraki.jp/map/index.html>